

# 宮津線

安田 潤 詩  
安田潤・浦島清一・山下浩二 曲

♩=120

1 F C7

5 Gm F C7 F

9 Bb Gm F C F

13 Dm6 Gm6 C7 F

18 F Dm F C Dm

22 F C F Gm7 C7

27 Dm7 Gm7 C7 F

たじまへー ぬーけてー こうのと りー

汽車が出るよ 舞鶴からは 僕らの町は いつの日走る 丹後をつなぐ 鉄道を 夢見て歩いた雪の中  
二十年がかりの開通で 行く先々の祝賀会 すし喰った餅喰ったと 走る汽車 子どもがはやす線路ばた

由良川わたり 青い海 とうろう流し えべっさん 砂丘に広がるチューリップ 但馬へぬけてコウノトリ

さなぼり 亥の子 修学旅行 出張する人 常便さん 時計にらんで駅長さん ぎりぎりかけこむ高校生  
荷物のかげの おばあちゃん 病院通いのおじいちゃん 新婚さんも寄り添って 暮しを結んで今日も行く

震災の町よ甦れ 機(はた)の音よ高く響け 丹後の暮し励まして 汽笛の音が こだまする  
秘めた歴史掘り起こせ 若者住める町づくり うらにし模様空の下 虹を追いかけ 宮津線